

ごみ燃料化施設 脱臭装置(1)活性炭購入仕様書

1) 処理ガス量 450 (m³/min)

2) ガス温度 20 (°C)

3) ガス組成 吸着処理前後の濃度を次のとおりとする。

| 成分名 | 吸着塔入口(ppm) | 吸着塔出口(ppm) |
|-----------|------------|------------|
| アンモニア | 1 | 1 |
| 硫化水素 | 0.05 | 0.02 |
| メチルメルカプタン | 0.5 | 0.002 |
| 硫化メチル | 0.03 | 0.01 |
| 二硫化メチル | 0.09 | 0.009 |
| トリメチルアミン | 0.03 | 0.005 |
| アセトアルデヒド | 0.1 | 0.05 |
| 臭気強度 | | 2.5 |

塩基性成分吸着剤

塩基性成分吸着剤

4) 接触時間 0.6sec以上

5) 稼働時間 24 h/日

6) 吸着剤の種類
 塩基性成分吸着用活性炭
 ペレット粒状炭 粒度(4-6メッシュ)

7) 活性炭量

| | 合計 |
|-------------|---------|
| 塩基性成分吸着用活性炭 | 6,500kg |

8) 包装形態
 1m³程度のフレコンバッグで納入可

9) 入替作業方法
 抜き取り: 高速吸引車による吸引
 入替作業: 電動ホイスト使用可
 注) 図面の活性炭充填層厚等は設計当初のものであり、以後、活性炭の種別や量を変えているため、下記の数値を参考とすること。

充填層厚: 塩基性吸着用活性炭1種のため、上下充填層厚は均一
 充填層1層当たりの面積(ガス通過面積): 3,000mm × 4,000mm

入替作業時期 平成31年2月を予定
 施設の操業事情から詰替え日は日曜日もしくは祝日とする。

10) 劣化炭の処理
 再生加工とする 再生加工証明書(任意様式)提出のこと

ごみ燃料化施設 脱臭装置(2)活性炭購入仕様書

1) 処理ガス量 300 (m³/min)

2) ガス温度 20 (°C)

3) ガス組成 吸着処理前後の濃度を次のとおりとする。

| 成分名 | 吸着塔入口(ppm) | 吸着塔出口(ppm) |
|-----------|------------|------------|
| アンモニア | 5 | 1 |
| 硫化水素 | 0.06 | 0.02 |
| メチルメルカプタン | 0.06 | 0.002 |
| 硫化メチル | 0.04 | 0.01 |
| 二硫化メチル | 0.09 | 0.009 |
| トリメチルアミン | 0.08 | 0.005 |
| アセトアルデヒド | — | 0.05 |
| 臭気強度 | | 2.5 |

塩基性成分吸着剤
酸性成分用吸着剤
酸性成分用吸着剤
中性成分用吸着剤
中性成分用吸着剤
塩基性成分吸着剤

4) 接触時間 0.6sec以上

5) 稼働時間 24 h/日

6) 吸着剤の種類

中性成分吸着用活性炭 装置内の層積みには順番がある(別紙図面参照)
塩基性成分吸着用活性炭
酸性成分吸着用活性炭

破碎炭 新炭 粒度(4-8メッシュ)

7) 活性炭量

| | 1回1基当たり | 小計 | 年間合計 |
|-------------|---------|----------|----------|
| 塩基性成分吸着用活性炭 | 4,700kg | 14,100kg | 28,200kg |
| 酸性成分吸着用活性炭 | 1,210kg | 3,630kg | 7,260kg |
| 中性成分吸着用活性炭 | 2,565kg | 7,695kg | 15,390kg |

8) 包装形態

3種類とも15kg程度の袋包装

9) 入替作業方法

抜き取り: 高速吸引車による吸引

入替作業: 充填口から手作業で搬入

注) 図面の活性炭充填層厚等は設計当初のものであり、以後、活性炭の種別や量を変えているため、下記の数値を参考とすること。

充填層厚: 塩基性成分吸着用活性炭層 約440mm

酸性成分吸着用活性炭層 約130mm

中性成分吸着用活性炭層 約270mm

充填層1層当たりの面積(ガス通過面積): 3,000mm × 3,000mm

入替作業時期 平成30年8月及び平成31年2月を予定

施設の操業事情から詰替え日は日曜日もしくは祝日を含むことがある。

10) 劣化炭の処理

再生加工とする

再生加工証明書(任意様式)提出のこと